

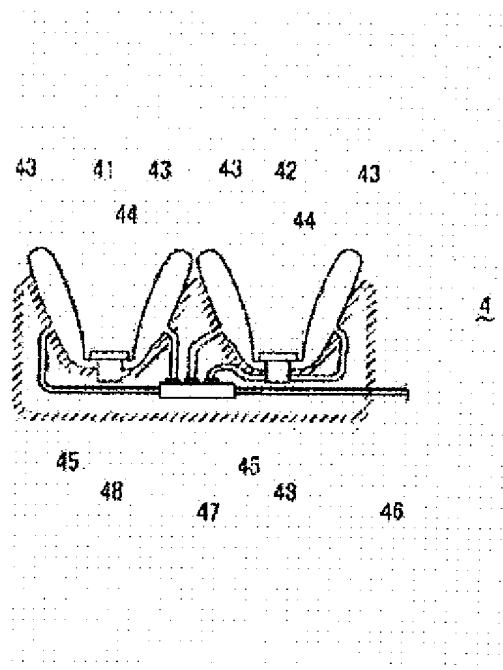
# AIR MESSAGE MACHINE

**Patent number:** JP2003052775  
**Publication date:** 2003-02-25  
**Inventor:** ITO ITSUMI; WADA MASAKI  
**Applicant:** FUJI IRYOKI KK  
**Classification:**  
- **International:** A61H7/00; A61H23/02  
- **European:**  
**Application number:** JP20010249598 20010820  
**Priority number(s):** JP20010249598 20010820

[Report a data error here](#)

## Abstract of JP2003052775

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an air massage machine, with which press massaging can be performed as efficiently as possible over the wide range of the legs such as to the shank or to the instep or toe of the end of the leg in each of leg insert recessed part of a footrest formed in a W shape. **SOLUTION:** In the air massage machine, with which a footrest 4 formed in the W shape, provided with a pair of left and right leg insert recessed parts 41 and 42 and arranged with airbags 43 and 43 to be expanded/shrunk by the air supply/air exhaust of an air supplying/exhausting device on both the respective wall surfaces of the respective leg insert recessed parts 41 and 42 can appear/disappear in front of a seat part 2, overlaying covers 44 spread from the inner front side of each of recessed parts 41 and 42 to the rear side are respectively piled on the leg insert recessed parts 41 and 42 of the footrest 4, and the footrest 4 attached with both the ends of each of overlaying covers 44 and 44 is appropriately formed with tunnel-shaped pocket parts 45 and 45 or bag-shaped pocket parts 45 and 45 attached with the top ends and both the terminals of the respective overlaying covers 44 and 44. Besides, a vibrating member 48 is internally provided on each of the bottoms between both the airbags 43 and 43 of the respective leg insert recessed parts 41 and 42.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-52775

(P2003-52775A)

(43) 公開日 平成15年2月25日 (2003.2.25)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	P I	テマコード (参考)
A 6 1 H 7/00	3 2 2	A 6 1 H 7/00	3 2 2 E 4 C 0 7 4
23/02	3 4 4	23/02	3 4 4 4 C 1 0 0

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-249598(P2001-249598)

(22) 出願日 平成13年8月20日 (2001.8.20)

(71) 出願人 000136491

株式会社フジ医療器

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

(72) 発明者 伊藤 いつみ

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

株式会社フジ医療器内

(72) 発明者 和田 正記

大阪府大阪市北区鶴野町4番A-424号

株式会社プロテックフジ内

Fターム (参考) 4C074 A003 C001 D004 G008

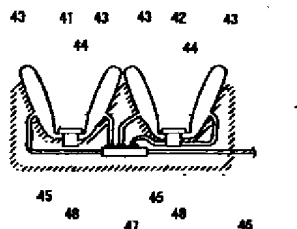
4C100 A002 B005 C009 D010 E009

(54) 【発明の名称】 エアーマッサージ機

(57) 【要約】

【課題】 W字状に形成された足載台の各脚部挿入凹部での脛脛や脚部端の甲部や爪先部に対する脚部の広範囲に亘る圧迫マッサージを可及的に効率よく行わせるようにしたエアーマッサージ機を提供する。

【解決手段】 W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を41・42備え、各脚部挿入用凹部41・42の各両壁面にエア給排気装置の給排気により膨脹する空気袋43・43を配備させた足載台4が座部2前方で出没し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台4の各脚部挿入凹部41・42に各凹部41・42内前方から後方間に亘る被覆カバー44を各々重設すると共に各被覆カバー44・44の両端を達着した足載台4にトンネル状のポケット部45・45や、各被覆カバー44・44の先端及び両端を達着した袋状のポケット部45・45を適宜に形成して構成する。また、要すれば、各脚部挿入用凹部41・42の両空気袋43・43間底面に振動部材48を各々内設する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入凹部両壁面にエア給排気装置の給排気により膨縮する空気袋を配備させた足載台を座部前方で出沒し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの両端を達着して足載台にトンネル状ポケット部を形成した事の特徴とするエアーマッサージ機。

【請求項2】 W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入凹部両壁面にエア給排気装置の給排気により膨縮する空気袋を配備させた足載台を座部前方で出沒し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの先端及び両端を達着して足載台にポケット部を形成した事の特徴とするエアーマッサージ機。

【請求項3】 前記足載台の各脚部挿入凹部の両空気袋間底面に振動部材を内設した事の特徴とする請求項1及び2記載のエアーマッサージ機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、エア給排気装置からの給排気で空気袋を膨張と収縮を行なわせて脚部に圧迫マッサージを行なわせるエアーマッサージ機に係り、詳しくは、W字状に形成された足載台に配備された膨縮可能な空気袋による圧迫マッサージを可及的に効率よく行なわせるようにしたエアーマッサージ機に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】この種従来のエアーマッサージ機は、W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備えた足載台の各凹部両壁面に、エア給排気装置の給排気により膨縮する空気袋を配備させて構成されており、施療者の脚部を足載台の各凹部に臨ませるよう載置してエア給排気装置を稼動させる事で、各凹部両壁面の空気袋の膨縮により脚部に圧迫マッサージを行なわせるようにしたものであった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この種従来のエアーマッサージ機で脚部の圧迫マッサージを行なう場合において、W字状形成された左右の脚部挿入凹部内、脚部に圧迫マッサージを行なわせる事ができるのであるが、各凹部の上面が解放されている為に、空気袋の膨縮動作に連動して脚部が上面開放側に逃避して十分な圧迫マッサージを行なう事ができないという問題が生じていた。

【0004】また、上記従来のエアーマッサージ機では、前述したように各凹部の上面が解放されている為、施療者が脚部端の甲部や爪先部を固定させる事が困難であ

り、この部位の圧迫マッサージは行なえないという問題もあった。

【0005】本発明は、上記の問題点に鑑みてなされたものであり、W字状に形成された足載台の各脚部挿入凹部での脛脛や脚部端の甲部や爪先部に対する脚部の広範囲に亘る圧迫マッサージを可及的に効率よく行なわせるようにしたエアーマッサージ機を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明のエアーマッサージ機は、上記目的を達成すべく以下のように構成するものである。

【0007】すなわち、請求項1記載の本発明は、W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入凹部両壁面にエア給排気装置の給排気により膨縮する空気袋を配備させた足載台を座部前方で出沒し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの両端を達着して足載台にトンネル状ポケット部を形成した事の特徴とするものである。

【0008】また、請求項2記載の本発明は、W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入凹部両壁面にエア給排気装置の給排気により膨縮する空気袋を配備させた足載台を座部前方で出沒し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの先端及び両端を達着して足載台にポケット部を形成した事の特徴とするものである。

【0009】更に請求項3記載の本発明は、前記足載台の各脚部挿入凹部の両空気袋間底面に振動部材を内設した事の特徴とするものである。

## 【0010】

【作用】本発明のエアーマッサージ機は、以上のように構成することで、次のような作用をもたらす。

【0011】すなわち本発明は、椅子の座部前方に出沒自在に設けられる足載台の各脚部挿入凹部に、各凹部内前方から後方に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの両端を達着して足載台にトンネル状ポケット部を形成している為、各脚部挿入凹部に脚部の脛脛部を載置してエア給排気装置を稼動させた場合には通常の圧迫マッサージが行なえ、またそのトンネル状ポケット部に各々脚部を挿入してエア給排気装置を稼動させた場合には、空気袋の膨縮動作に連動して上面開放側に脚部が逃避する事なく被覆カバーで強制維持させながら該部位に十分な圧迫マッサージを行なう事ができる。

【0012】また本発明は、椅子の座部前方に出沒自在に設けられる足載台の各脚部挿入凹部に、各凹部内前方から後方に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被

覆カバーの先端及び両端を達着して足載台にポケット部を形成している為、各脚部挿入凹部に脚部の脛脛部を載置してエア給排気装置を稼動させた場合には通常の圧迫マッサージが行なえ、また各脚部挿入凹部のポケット部に各々脚部端の甲部や爪先部を挿入してエア給排気装置を稼動させた場合には空気袋の膨縮動作に連動して上面開放側に脚部の爪先部が逃避する事なく被覆カバーで強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージを行なう事ができる。

【0013】更にまた本発明は、前記足載台の各脚部挿入凹部の両空気袋間底面に振動部材を内設している為、各脚部挿入凹部に脚部の脛脛部を載置してエア給排気装置を稼動させた場合には通常の圧迫マッサージや振動マッサージ及び振動圧迫マッサージが行なえ、また各脚部挿入凹部の第1請求項のトンネル状ポケット部や第2に請求項のポケット部に、各々脚部や脚部端の甲部や爪先部を挿入してエア給排気装置を稼動させた場合には空気袋の膨縮動作に連動して上面開放側に脚部の爪先部が逃避する事なく被覆カバーで強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージや振動マッサージ及び振動圧迫マ

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係るエアーマッサージ機を図面に示す一実施例に基づきこれを詳細に説明する。

【0015】図1乃至図3は本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜断面図であり、図4は本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す断面図、図5乃至図9は本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の各実施例を示す側面図、図10乃至図13は本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【0016】図1乃至図3の実施例で示した本発明のエアーマッサージ機は、座部2と背凭れ部3を有する椅子1に、W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を41・42備え、各脚部挿入凹部41・42の各両壁面にエア給排気装置の給排気により膨縮する空気袋43・43を配備させた足載台4が座部2前方で出沒するようにしたものであり、該エアーマッサージ機の前記足載台4の各脚部挿入凹部41・42に各凹部41・42内前方から後方に亘る被覆カバー44を各々重設すると共に各被覆カバー44・44の両端を達着した足載台4にトンネル状のポケット部45・45や、各被覆カバー44・44の先端及び両端を達着した袋状のポケット部45・45を形成したものを例示している。

【0017】すなわち、前記足載台4は、例えば図4に示すようにその左右に脚部挿入凹部を41・42が各々配備されており、各脚部挿入凹部41・42の各両壁面にはコンプレッサー等のエア給排気装置（図示せず）からの給排気により膨縮する空気袋43・43が夫

々配備され、施療部位に圧迫マッサージを行なわせる事ができるようにしている。

【0018】また、前記エア給排気装置と各空気袋43・・・間には、エアホース46が介設されており、各空気袋43・・・に給排気を分配給排する分配器47で各空気袋43・・・への給排気を均等に行なわせるようにしている。

【0019】更に、前記足載台の各脚部挿入凹部41・42の両空気袋43・43間底面には、図4に示したような電磁式或いは偏心錘の回転により振動を付与する振動部材48・48が内設されており、該振動部材48・48により施療者の脚部等の施療部位に振動マッサージを行なわせる事ができるようにしており、前記各空気袋43・・・を同時稼動させる事で、脚部等の施療部位に振動圧迫マッサージを行なわせる事ができるようにしているのである。

【0020】前記座部2前方で出沒する足載台4のリンク機構は、図示していないが複数のリンクで構成されるものであり、最も簡易なリンク機構としては、一般にU字状リンクと棒状リンクとで足載台4を出沒できるようにしており、またリンク機構に代えてこれを電動式アクチュエータにより座部2前方で足載台4が出沒するようにしても良い。

【0021】以上のように構成される本発明のエアーマッサージ機を使用するにあつては、図5に示すように、施療者が椅子1に着座して、図2及び図10に示すように足載台4を座部2前方に突出させ、図6及び図11に示すように足載台4の各脚部挿入凹部41・42に脚部の脛脛部等の施療部位を載置し、エア給排気装置を稼動させる事で通常の圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材48・48を稼動させる事で該施療部位に振動マッサージが行なえ、これらを同時に稼動させる事で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0022】また、足載台4を座部2前方に突出させた状態で、図7及び図13に示すように足載台4の各脚部挿入凹部41・42におけるトンネル状のポケット部45・45に脚部の脛脛部等の施療部位を載置し、エア給排気装置を稼動させる事で、空気袋43・・・の膨縮動作に連動して上面開放側に施療部位が逃避する事なく被覆カバー44・44で強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材48・48を稼動させる事で該施療部位を逃避させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に稼動させる事で同様な状態で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0023】更に足載台4を座部2前方に突出させた状態で、図8及び図12に示すように足載台4の各脚部挿入凹部41・42における袋状のポケット部45・45に各々脚部端の甲部や爪先部等の施療部位を挿入して、エア給排気装置を稼動させる事で、空気袋43・・・の膨縮動作に連動して上面開放側に施療部位が逃避す

る事なく被覆カバー44・44で強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材48・48を移動させる事で該施療部位を逃避させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に移動させる事で同様な状態で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0024】更にまた、図3に示すように足載台4を座部2前方の載置面に突出させ、図9及び図12に示すように足載台4の各脚部挿入用凹部41・42における袋状のポケット部45・45に各々脚部端の甲部や爪先部等の施療部位を挿入して、エア給排気装置を移動させる事で、空気袋43・・・の膨縮動作に連動して上面開放側に施療部位が逃避する事なく被覆カバー44・44で強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材48・48を移動させる事で該施療部位を逃避させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に移動させる事で同様な状態で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0025】

【発明の効果】よって、本発明のエアーマッサージ機は、椅子の座部前方に出没自在に設けられる足載台のW字状形成された左右の各脚部挿入凹部に、要すれば振動部材を各々内設し、各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重設すると共に、各被覆カバーの両端を達着したトンネル状ポケット部や、各被覆カバーの両端及び先端を達着した袋状ポケット部を形成して構成している為、W字状形成されてその脚部挿入凹部上面を解放した足載台を有する従来のエアーマッサージ機とは異なり、脚部の脛脛部・甲部・爪先部等の施療部位が上面開放側に逃避して充分な圧迫マッサージを行なう事ができないという問題がなく、被覆カバーで強制維持させながら施療部位の広範囲を効率良く充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材を移動させる事で施療部位の広範囲を逃避させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に移動させる事で同様な状態で施療部位の広範囲を振動圧迫マッサージが行なえる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜面図である。

【図2】本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜面図である。

【図3】本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜面図である。

【図4】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す断面図である。

10 【図5】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の実施例を示す側面図である。

【図6】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の実施例を示す側面図である。

【図7】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の実施例を示す側面図である。

【図8】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の実施例を示す側面図である。

【図9】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の実施例を示す側面図である。

20 【図10】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【図11】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【図12】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【図13】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【符号の説明】

2 座部

4 足載台

41 脚部挿入用凹部

42 脚部挿入用凹部

43 空気袋

44 被覆カバー

45 ポケット部

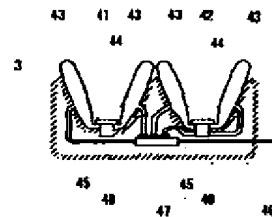
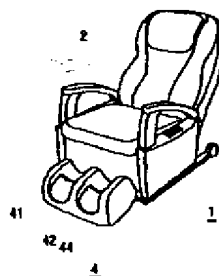
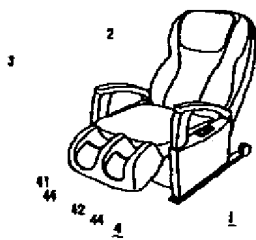
48 振動部材

【図1】

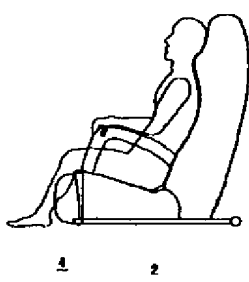
【図2】

【図3】

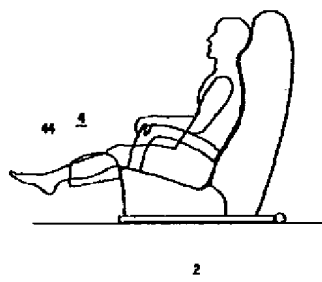
【図4】



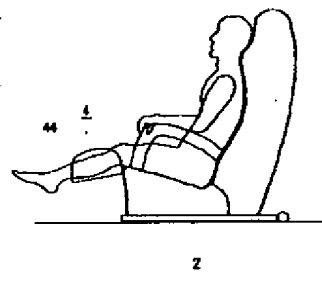
【図5】



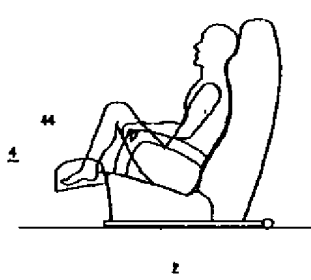
【図6】



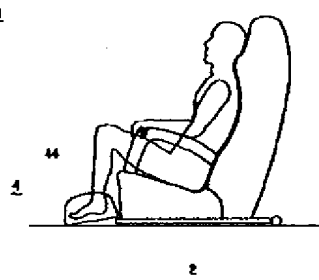
【図7】



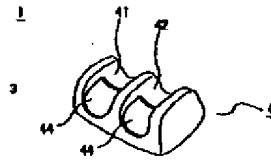
【図8】



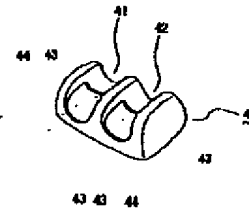
【図9】



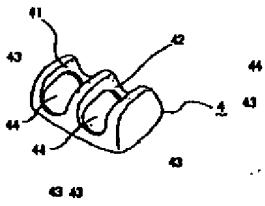
【図10】



【図11】



【図12】



【図13】

